

明るい未来への一步

文化が育む平和の心

横浜市会議員 市来えみこ

戦後81年、私たちは平では横浜だけの開催で和をどのように受け継ぎます。首飾り事件ゆかりの15カラットのダイヤモンドや、美しい調度品の先日、横浜美術館で開催中の「マリー・アントワネット・スチール」展を訪れました。ロンドン発の世界巡回展で、日本たのは、展示で紹介され

中でも、最も心に残ったのは、展示で紹介され



いちき 市来えみこ

横浜市泉区生まれ(58歳)
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了/米国パラーガル
家族:娘、両親、愛犬
☎070-9053-1968
✉ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
都筑区中川中央1-22-5 #402
フスタイル(事務所)



「11月23日まで開催です」

た一つの逸話です。処刑台へ向かう際、誤って執行人の足を踏んでしまったマリー・アントワネットは「ごめんなさいね。わざとではないのですよ」と詫言たと伝えられています。歴史上の評価には様々な見方がありますが、死を直前にしても相手を思いやる心を失わない人間性の尊さに、胸が締め付けられました。平和は、特別な誰かが築くものでも、特別な日だけに願うものでもありません。日々の暮らしの重なる世界が注目するこの貴重な展覧会が、一人でも多くの方にとって、人を思いやる心、そして平和について静かに考えるきっかけとなることを願っています。

文化や芸術は、美しいものに触れる喜びだけでなく、人の心を豊かにし、人間性を育み、他者を理解する感性を育んでくれます。だからこそ、子どもたちにも本物の文化に触れてほしいと心が願っています。